



A.A.M.T

秋臨技 だより

第89号

第 89 号

発行所
〒010-0013 秋田市南通築地 1-1
ファーストワン築地 2A
TEL・FAX:018(825)2116
E-mail:aamt-01@comet.ocn.ne.jp
(注)秋田県臨床検査技師会事務所

発行人 佐藤 寛
編集主幹 佐藤 義暢
印刷所 石岡印刷所
電話 018(884)4771



第37回 秋田県医学検査学会 由利支部よりご報告

第37回 秋田県医学検査学会をふりかえって

第37回秋田県医学検査学会

実行委員長 菊地 孝哉

第 37 回秋田県医学検査学会は、平成 25 年 11 月 3 日に由利本荘市のホテル アイリスで開催されました。全県から 250 名の会員・賛助会員の皆様方に足を運んで頂き、お蔭様で盛会に終える事ができました。由利支部担当での開催は、本学会が 2 回目になりましたが、実行委員会も 11 回開催して支部会員全員が結束して本学会の運営にあたりました。一般演題の発表数も 21 題ありましたが、そのうち本学会でデビューした技師も 11 名おり、発表の際にはかなり「ドキドキ」していたと思われましたが、発表時間内ぎりぎりまで活発な質疑が行なわれ、会員の皆様の検査に取り組む姿勢と向上心に感服しました。これも、職場の先輩や同僚の皆様からの、あたたかい御指導と心からの応援があったからだと思えます。午後からの公開講演 I では、「知れば防げる脳卒中」の御講演をいただき、日常生活習慣病予防の大切さを再認識した次第でした。公開講演 II の「白瀬南極探検隊とその時代」では、南極探検隊長 白瀬 勲のチャレンジ精神と、目標に向かって邁進した彼の生涯に感銘を受けました。また、ランチョンセミナーや部門別研修会も、前回担当した時より 1 部門増やして 5 部門にして、学会内容の充実を図りました。情報交換会にも 129 名の方に参加をして頂き、会場もホテルのスカイレストラン(10 階)にて行い、由利本荘の夜景を眺めながらの情報交換そして、デビュー賞や学会学術賞～実行委員長賞の授与式に続いて、初めての試みとして企画した地元の民芸品や名産品の抽選会も大いに盛り上がり、多くの方に親睦を深めていただけたと思えます。さらには、本学会に多大なご支援を頂きましたメーカーや賛助会員、学会に参加してくれました会員の皆様のお蔭で本学会を開催することができた事に、由利支部会員一同心より感謝を申し上げます。最後に、秋田県臨床検査技師会の益々の発展と、本検査学会で各賞を受賞された皆様の御活躍と会員の皆様のさらなる研鑽を祈念いたしまして、お礼のことばとさせていただきます。本学会への御協力、誠にありがとうございました。



第37回秋田県医学検査学会実行委員の皆さん
菊地孝哉実行委員長 (前列右から二人目)
佐藤友章事務局長 (二列目左から一人目)

由利支部担当で開催された 第37回秋田県医学検査学会



学会会場の由利本庄市 ホテルアイリス



学会受付の様子



学会会場の様子



公開講演I～知れば防げる脳卒中～で
ご講演頂いた由利組合総合病院院長の
菊地頭次先生



公開講演II
～白瀬南極探検隊とその時代～
ご講演を頂いた白瀬轟顕彰会
佐藤忠悦 副会長



特産品の抽選会で盛り上がった情報交換会

第37回秋田県医学検査学会で学術賞を受賞された 大館市立総合病院 臨床検査科 佐藤多喜子 技師



当院で取り組んだ医療安全対策と課題 ～チーム力を活用して～

『じえじえじえー』大変、びっくり!

和やかな雰囲気助けられ、思いを込めて発表ができ、由利本荘市の夜景の眺めのお・も・て・な・し・と学会学術賞までいただいたことに感謝申し上げます。

検査と地域の和をひろげ～

チーム力の和をひろげ～

第37回秋田県医学検査学会で学会デビュー賞を受賞された皆さん

発表者	所 属	演 題 名
齋 藤 桃 香	秋田大学医学部付属病院	イムライズ2000による可溶性インターロイキン2受容体測定の基礎的検討
畠 山 奈々美	秋田赤十字病院	術前検査として早期S状結腸癌にCA19-9が有効であった症例
由 利 彰	平鹿総合病院	基準値濃度域の改善をみたシグナスオートCRE(シノテスト社)の検討
山 田 千 尋	秋田大学医学部付属病院	高感度トロポニンT試薬の評価
田 中 宏 充	秋田赤十字病院	不規則抗体スクリーニング検査における酵素法の有用性に対する検討
品 川 泰 範	市立秋田総合病院	Streptococcus pneumoniaeによる小児の髄膜炎の一症例
田 中 由貴子	山本組合総合病院	全自動尿中有形成分分析装置UF-1000iによる細菌測定 of 検討
佐 藤 麻衣子	秋田大学医学部付属病院	分子標的薬治療中に重篤な不整脈を発症した慢性骨髄性白血病の一例
小 野 園 美	市立秋田総合病院	終夜経皮的動脈血酸素飽和度測定 of 現状と課題
田 中 清 美	平鹿総合病院	脳波検査にて非けいれん性てんかん重積状態 (NCSE) と診断された一症例

平成25年度秋田県臨床検査技師会 永年職務精励者表彰

平成 25 年度第 1 回通常総会終了後、平成 25 年度の永年職務精励者表彰が行われ、出席した対象者の方へ会長より表彰状が手渡されました。



在籍20年表彰

齊 藤 和 子	秋田県総合保健事業団(児桜検査センター)	高 橋 ゆか子	雄勝中央病院
鶴 田 聡	秋田赤十字病院	菅 原 修 一	南秋田整形外科医院
渡 部 万 美	秋田社会保険病院	寺 村 真紀子	市立大曲病院
須 田 公 治	仙北組合総合病院		

在籍30年表彰

熊 谷 優 子	秋田県健康環境センター	齋 藤 孝 良	山本組合総合病院
鎌 田 雅 人	秋田県総合保健事業団(児桜検査センター)	佐 藤 義 暢	北秋田市民病院
藤 原 敦 子	秋田県総合保健事業団(児桜検査センター)	小 松 和 夫	仙北組合総合病院
小 林 則 子	秋田大学医学部付属病院	菊 地 美保子	市立大森病院
鎌 田 由美子	秋田大学医学部付属病院	鈴 木 恵美子	由利組合総合病院
二 部 琴 美	秋田県赤十字血液センター	熊 谷 富美子	秋田県立脳血管研究センター
成 田 稔 子	秋田社会保険病院	渡 部 尚 志	秋田県総合保健事業団 県南健診センター
若 狭 強	秋田社会保険病院	大 島 善 洋	秋田県赤十字病院附属あきた健康管理センター
淡 路 祥 子	秋田社会保険病院		

秋田県臨床検査技師会 平成25年度第1回通常総会

県の立ち入り調査で会計処理上の問題点を指摘される
公益社団法人への移行を見送り一般社団法人への移行を提案

平成25年5月26日、秋臨技平成25年度第1回通常総会が市立秋田総合病院講堂で開催されました。総会では平成24年度事業報告や決算報告について審議され承認されましたが、3年に一度行われる県の立ち入り調査(平成24年2月27日)で平成22年度から23年度への引き継ぎ金の帳簿上の不備を指摘され、帳簿処理を是正するよう指導されていたことについても経過が説明され、県の指導に基づいて是正した平成22年度、23年度の決算について再承認されました。

また、今回の県の立ち入り調査で指摘された会計面での不備や甘さを是正する必要があり、現時点での公益社団法人への移行は不安がある事が説明され、公益社団法人への移行を見送り一般社団法人へ移行する案が提案され承認されました。



東北臨床検査技師会が北日本支部へ 移行することについて

(社) 秋田県臨床検査技師会

会長 佐藤 寛

東北臨床検査技師会(以下東臨技)は東北6県+新潟県の技師会が集まって、平成6年に設立(当時は東北臨床衛生検査技師会)され、主に学術的な活動を行ってきた団体です。最大のイベントはやはり東北医学検査学会でしょうか。日本臨床衛生検査技師会(以下日臨技)の下部組織のように思われがちですが、実は独立した団体です(秋田県臨床検査技師会(以下秋臨技)も日臨技の下部組織ではなく独立した団体です)。

日臨技は平成23年度に組織の見直しを行い、新しく全国を7つの地区単位に分けてそれまでは無かった支部制を導入しました。北日本、関甲信、首都圏、中部圏、関西、中四国、九州の7支部になります。北日本支部は北海道+東北6県+新潟県で構成されますので、今まであまり交流がなかった北海道との行き来が発生することになりました。

同じ地区に「東臨技」と「日臨技の北日本支部」があつて、現在はそれぞれが主催や共催の研修会が混在して開催されるという、ややこしいことになっています(東北医学検査学会はすでに日臨技北日本支部医学検査学会に移行)。今後の学術活動をどうするかが問題となりますが、東臨技の代表者会議(平成25年8月17日・仙台市)で検討した結果、東臨技の発展的解消を行って今後は北日本支部として一本化する方向でいくことになりました。

今後の東臨技の活動は段階的に縮小していきます。まず学術活動は今年度で終了します。その後2年程度かけて「東日本大震災復興支援金」の残金(1,200万程度)を計画的に支出して解散する予定です。

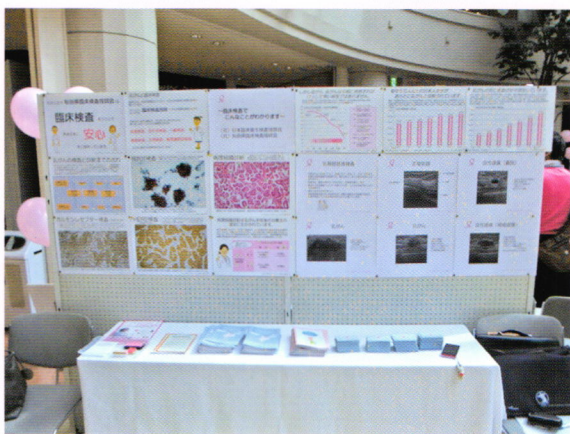
北日本支部の学術部門は日臨技と共通した生物化学分析・臨床一般・臨床血液・臨床微生物・輸血細胞治療・病理細胞・遺伝子・臨床生理・臨床検査総合の9部門での体制となり、秋臨技の学術部門もこれに準ずることが望ましいとされています。各部門には各県・道選出の部門員と部門員の互選で選ばれた部門長がおかれ、部門長を統括する立場として支部学術部門長もおかれます。

来年度の学術活動の柱となる各部門の部門長の決定はこれからで、北日本支部内連絡会議(平成25年10月11日・仙台市)で決定した支部学術部門長(青森県技師会・山崎正夫会長)が中心となって来年度の予定が練られているところです。秋臨技各施設の技師長さんには出張予算のやり繰りが伴いますが、少し遠い北海道での研修会開催でも会員を派遣して頂ければありがたいと思います。

ピンクリボンキャンペーン in AKITA 2013

由利組合総合病院 遠藤 正志

ピンクリボンキャンペーン in AKITA 2013 が、9 月 29 日 (日) イオンモール秋田を会場に開催され、(社)秋田県臨床検査技師会として参加協力した。



当日は、佐藤会長はじめ 8 名の会員が参加し、乳腺の細胞像や超音波画像の掲示、パンフレット配布などの活動を行った。様々な催し物が企画され、休日のショッピングセンターが会場ということで、大勢の買い物客が足を留め、大変な盛り上がりを見せた。当日ブースにおいても、乳がん検査についての質問や画像掲示について質問する人が途切れることなく訪れ、その対応に負われた。朝から夕方までのイベントで、参加会員の皆様には大変ご苦勞をかけることとなったが、秋田県臨床検査技師会としてピンクリボンキャンペーンを通じ社会に貢献できたのではと思う。

編集後記



だよりの発行が当初予定より遅れてしまいご迷惑をかけた事をお詫び申し上げます。特に県学会前に発行する予定で原稿を頂きながら、掲載出来なくなってしまった学会の予告記事を書いて下さった菊地実行委員長には大変申し訳なく思っております。この場をお借りして詫び申し上げます。